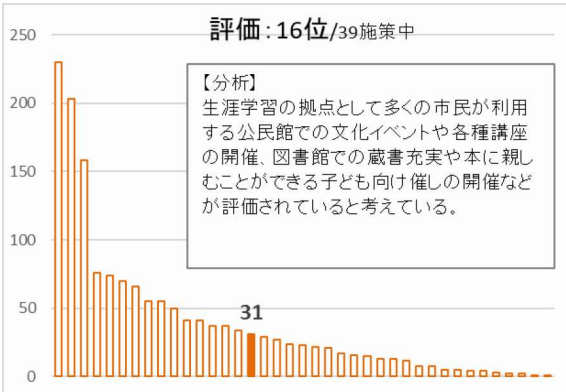


④ 公民館・図書館機能の充実 <<評価：65.0点>>

市民意識調査結果



施策成果指標

施策に対する成果指標名			単位	過年度実績		評価年度
				H29	H30	R1
成果指標	公民館の利用者数	目標	人	77,500	80,000	82,500
		実績	人	80,651	79,611	76,314
		達成率	%	104.1	99.5	92.5
		ベンチマーク				
参考指標①	図書館の利用者数	目標	人	23,000	24,000	25,000
		実績	人	20,163	21,430	21,282
		達成率	%	87.7	89.3	85.1
		ベンチマーク				
参考指標②	1人当たりの貸出数	目標	冊	2.7	2.8	2.9
		実績	冊	2.3	2.8	2.7
		達成率	%	85.2	100.0	93.1
		ベンチマーク				
参考指標③	公民館講座募集定員の充足率	目標	%	80.0	80.0	80.0
		実績	%	68.5	74.9	46.4
		達成率	%	85.6	93.6	58.0
		ベンチマーク				

成果指標の妥当性

評価	担当課	A委員	B委員	C委員	D委員	E委員	F委員
	4	2	3	2	3	3	3
評価採点		2	2	2	3	3	3
担当課判断理由	<ul style="list-style-type: none"> 公民館や図書館にご来館いただき、各々の課題解決や情報提供に役立てていただくお手伝いをするためには、たくさんの方にご利用いただくという指標が、今の段階では妥当だと考えています。 						
市民委員意見	<ul style="list-style-type: none"> 公民館は活力を感じるが図書館は消極的 図書館の利用者数があまりにも寂しい。 他との比較を多方面より努めてほしい。 前年施策成果の実績数値を3年分検証したらそこに何か変化、新しい対策を見つけることができるのか疑問。 						

事業構成の 適当性	評価	担当課	A委員	B委員	C委員	D委員	E委員	F委員
		3	2	3	2	2	3	3
	評価採点		2	3	2	2	3	3
	担当課 判断理由	<ul style="list-style-type: none"> 貸館業務だけに対応している傾向が強くなっている公民館の現場を、社会教育の推進を念頭にした多様な講座を企画したり、市の各施策と連携した取組をもっと増やしていく必要があります。 						
市民委員 意見	<ul style="list-style-type: none"> 公民館利用の市民ニーズに対して、とても知恵を感じる。 課題認識はしているものの、具体的対策がない。 							
施策の 有効性	評価	担当課	A委員	B委員	C委員	D委員	E委員	F委員
		3	3	3	3	2	3	2
	評価採点		3	3	3	2	3	2
	担当課 判断理由	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習社会の理念を社会教育によっていかに実現するかという根本に立ち返って、地域の特性を生かしたり、時世を反映した事業や講座等を企画できるか重要となっています。今後も利用率の向上に向けて施設の魅力アップが必要となります。 						
市民委員 意見	<ul style="list-style-type: none"> もう少し図書館に関しては踏み込んでいただきたい。 目標以上のことを求める。 施策の評価は通り一遍の表現であり、市民に対して説得力がない。ためただの報告書に過ぎない 							
R2年度の 取組内容	評価	担当課	A委員	B委員	C委員	D委員	E委員	F委員
			4	3	2	3	3	3
	評価採点		3	2	2	3	3	3
	担当課 判断理由	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響もありますが、各公民館が中心となって、さまざまな世代の方が参加できる各種講座の実施に取組みます。図書館の整備については、昨年度策定した図書館整備基本構想により、図書館の現状や課題、基本的な考え方などが示されており、施設整備の具体的な比較検討を行うこととしている。 						
市民委員 意見	<ul style="list-style-type: none"> 「図書館期整備基本構想」で具体的な解決すべき方向性を把握されているのが分かるが、課題を解決するにはお金も時間もかかるので慎重さを感じる。 市民全体のうねりを起こすことが必要と思う。 様々な世代の方が参加できる各種講座の実施とあるが、年代別の分析やPR活動の強化を指標に組み込む検討が必要。 							
R3年度の 取組目標	評価	担当課	A委員	B委員	C委員	D委員	E委員	F委員
			4	4	2	3	3	2
	評価採点		4	2	2	3	3	2
	担当課 判断理由	<ul style="list-style-type: none"> 地域の学習拠点として市民の生きがいや自己実現を促進する公民館事業の展開を目指していきます。子供から大人まで図書館を利用し、事業に参加できるようソフト・ハード両面で魅力ある図書館づくりに取組んでまいります。また、圏域連携による図書館相互利用を推進していきます。 						
市民委員 意見	<ul style="list-style-type: none"> 公民館は特に街に開かれている姿が見えます。 圏域連携による図書館相互利用の促進とあるが、実数が伴っていないのはなぜかの分析がないまま翌年度に取り組んでいる。 							

市民委員から見た課題

- ・課内職員間の連携を強化すべき。
- ・講座後だけでなく、来館者全体にもアンケートを取ってみては？
- ・図書館について、現状よりは広い床面積で整備してください。図書室であってはならない。
- ・東備西播HP等を使ったPRの検討
- ・他の建物をつくる時にタウンミーティングに参加したが、市民の意見が反映されている気がしない。言いつばなしではなく、市民の意見を取り入れてほしい。

長期的に取り組むべき課題

- ・より良い図書館整備（借りに行きたくなる、子供を連れて行きたくなる）
- ・公民館について、地区のコミュニティの中心となる方向で整備していただきたい。
- ・電子化、電子書籍化の検討
- ・図書貸出通帳を導入しては？本を借りるの楽しみが増えるのではと思う。
- ・コロナのようなこともあり、公民館、図書館のあり方の変化を検討
- ・「学び・発見・集う図書館」というスローガンの中、コロナ禍で出来る対策を講じて何が出来るか。（千葉県佐倉市での移動図書館の活用を参考に）

委員会後の担当課対応

- ・⑧施策の評価について
2<事業構成の適当性>の記述（昨年と記述が変わっていない）
→現状に合わせた内容に修正しました。
R2年度の実行目標の記述（具体性が無い）
→実施する講座をより具体的にすべく、地域学、宇宙学を追記しました。
図書館整備ではタウンミーティングを活用することを追記しました。
R3年度の実行目標の記述（分かりづらい）
→図書館利用について圏域連携により相互利用を推進していくという文章をより具体的に修正しました。
- ・今後の取組について

公民館

- ①講座・事業等の充実
 - ・他部署との連携の検討
 - ・SNS等による広報活動（事業案内・実績報告等）の充実
- ②公民館等の環境整備
 - ・維持補修の継続、施設内外における環境向上
- ③施設の再編計画
 - ・個別整備計画の策定

図書館

- ①図書館整備
 - ・整備比較検討業務【実施中】
 - ・年明けにタウンミーティング（1～2月 計2回を予定）
- ②図書館サービスの充実
 - ・読書手帳の継続
図書通帳と同様の取組みで、「読書手帳」という名称で大人用と子ども用を作成し希望者に配布中。
 - ・電子図書の導入検討
電子書籍は、公共図書館向け電子書籍のコンテンツが充実していないことや図書館システムとの連携や導入経費などの課題がありますが引き続き検討。
- ③図書館相互利用
 - ・相互利用の周知PR
相互利用は、岡山連携・東備西播ともパンフレットを作成し、新規カード作成時に配布していますが、図書館HPや図書館だより等でも引き続き周知。